

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	JASS17 ガラス工事改定小委員会	主 査 名：角田 誠 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (内外装工事運営委員会)	委員長名：早川 光敬 主 査 名：角田 誠
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JASS17 ガラス工事改定小委員会は、前回改定から 10 年以上経過した JASS17 ガラス工事の改訂を行う。委員会の体制としては、小委員会と WG を設置する。小委員会では改定方針と執筆作業の体制を決定する。具体的には、前回改定以降の技術の変化、基準類の変更の洗い出しを行う。これを踏まえ、節の構成の見直しの必要性の検討、変更・加筆すべき内容の検討を行う。これらの作業を通じて、全体の改定方針を決定する。 また、SSG 構法検討 WG を設置し、最新の情報を収集した上で、SSG についての記述を見直すかどうかを検討する。 これら方針が明確になったところで、執筆 WG を設置して、分担して執筆を行う。なお、SSG 構法以外にも、旧来の JASS からほとんど変更していない数値などは、今回一通り見直す予定である。 <p>(各年度活動計画)</p> <p>初年度： ・ 前回改定以降の技術の変化、基準類の変更の洗い出し等</p> <p>2 年度： ・ 節の構成の見直しの必要性の検討、変更・加筆すべき内容の検討等</p> <p>2017 年度は 3 年度目であり、以下の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガラス構法全体に関わる事項（性能、材料、施工、製作、取付け、検査等）について、各構法内容との調整等 <p>来年度は刊行、講習会開催を予定している。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>角田誠 (主査/首都大学東京)、清家剛 (幹事/東京大学)、名取発 (幹事/東洋大学)、井上朝雄 (九州大学)、江口亨 (横浜国立大学)、熊谷亮平 (東京理科大学)、菊池哲 (AGC グラスプロダクツ(株))、高原正弘 (日本板硝子(株))、俵田忠明 (セントラル硝子(株))、松尾隆士 (清水建設(株))、多賀洋 ((株)日本設計)、石井久史 ((株)LIXIL)、井上卓 ((株)竹中工務店)、吉田一彦 ((株)日建設計)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>(SSG 構法検討 WG)</p> <p>目的：SSG 構法の現状の技術について確認し、JASS17 の記述の修正が必要かどうか検討する。</p> <p>(ガラス構法執筆 WG)</p> <p>目的：JASS17 ガラス工事の執筆を行う。</p> <p>ガラス各構法は専門性の高い内容であるので、執筆グループを編成し、執筆を行う。内容は、ガラススクリーン構法、SSG 構法、張付け構法等である。なお、現行版 1 節に書かれている、ガラス構法全体に関わる事項（性能、材料、施工、製作、取付け、検査等）については、小委員会において、各構法の内容との調整をしつつ執筆を行う。</p>	
2017 年度予算	240,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス： https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/a-000/a600-12/a670-15.html</p>

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回 (年度内計画を含む)

<p>刊行物 (シンポジウム資料等は除く)</p>	
<p>講習会</p>	
<p>催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画</p>	
<p>大会研究集会</p>	
<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<p>特になし</p>